

Outline

Introduction to Media Studies

- 30分英語訓練（今日はグループ4）
- グループ4以外、モノマネゲームをするか、自分達で英語遊びをする。語学学習でも使えそうな、面白動画（できればメディア学に近いもの）、テーマ、関心を見つけグループで共有（記録）
- プレゼンの構成の説明
- グループ活動2: 構成の説明を受けて、プレゼン準備（記録）

I'll use English based on these slides in Japanese so, please follow a slide if you don't understand.

30分の英語訓練

その間、他グループはグループ活動1

基本の形式

大体これを元に進める

- 最初の5分から10分程度、1週間勉強何をしたかの簡単な会話。
- 5分から10分程度、英語科目や語学科目等の宿題の手伝い、語学学習に関して疑問に思ってることなどへのアドバイス
- 残りの時間：グループのレベルに応じて、英語にてきめられたテーマに関して、何か発言する方法を訓練 または、フリートークを通して反応する訓練を学ぶ。沈黙はなし。日本語でも片言でもいいから反応する
- 単語が出てこなかったら、先生に聞く。先生もわからなかったら、スマホを活用。間違い等は気にしない（会話の中で先生がさりげなく修正していく）

グループ活動1

グループ活動

- 英語学習を継続できるようにするためのコンテンツを自分達で作る
- 陰謀論でもいい、漫画、アニメ、ゲーム、ドラマ・映画、スポーツ、ファッション、恋愛、なんでもいい（可能ならメディア学、制作・開発関係がいいけれど）
- テーマが決まったら、英語学習に使えるようなもので、それに関連した動画や記事資料をグループで探し、リスト化する。あるいは自分達で学習サイト、メディア・コンテンツを作る
- 動画/記事: 短めのがいい。記事は1ページ、2~5段落程度。5分から10分（耐えられるなら長くていい）、動画は可能なら字幕機能があるコンテンツ。双方、見られるコンテンツ

グループ活動

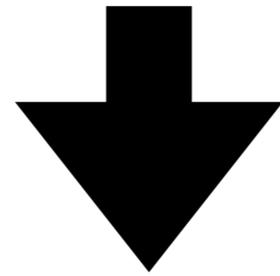
- 個人: 残りの学期の語学学習スケジュールを決めてしまう
- グループで語学訓練メニューを共有する (授業サイト参照)
- 授業の30分間でグループできそうな英語学習訓練、ゲーム、学習方法を決めていく (来週以降から実行)
- 語学関係科目の課題をグループ全員で共有し、お互いを助ける (それに関してカンニングとかいう先生がいたら、それは先生はおかしいと言いたい。一人でやるより、グループでワイワイやりながらの方がいい。宿題は一人でやれって指示はあったか?)
-

英語がどうしても嫌だという場合

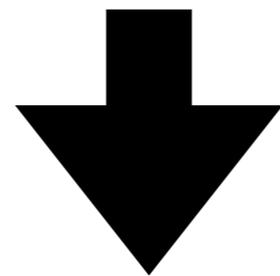
- 外国語学習がそんなに嫌であれば、外国語は金を増やすためのツールと思え
- AI翻訳にはできないセンスを身につけるための手段
- メディア学科の学生でありながら、情報源が母国語のみの視点ってというのは、これからの世界は弊害あり（今でも起きている）
- 例: 情報格差、日本のIT・情報産業の大幅な遅れ、人材流出、国際報道で日本のプレゼンス（低）、映画、アニメ産業なども他国に抜かれてる
- 実際の調査: 外国語ができるのとできないので年収に差が出る。グローバル大手企業、新卒入社で1000万円あり（最近日本の企業もやり始めた）
- 制作業界も同じ: フリーランス = 日本語の場合は搾取対象、個人下請けに成り下がる。海外 = 自分を売り込むこと自由、値段は自分で決め自分で交渉、本当の意味でフリーランス（自営業）

プレゼンテーションの構成

インドロダクシヨシ



ボディ (メイン) 本論



クロージング

いちばん伝えたいこと
(見出し)

内容を簡潔にまとめる
(リード)

説明や補足
(本文)

教科書的「初めに」の部分の書き方
あるいは、論考の展開方法、
新聞記事の書き方

HOOK: つかみを加えてほしい

いちばん伝えたいこと
(見出し)

内容を簡潔にまとめる
(リード)

このあたりに選択した動画の概要説明を入れる。あるいはスキップして、概要説明は資料で渡してしまう。

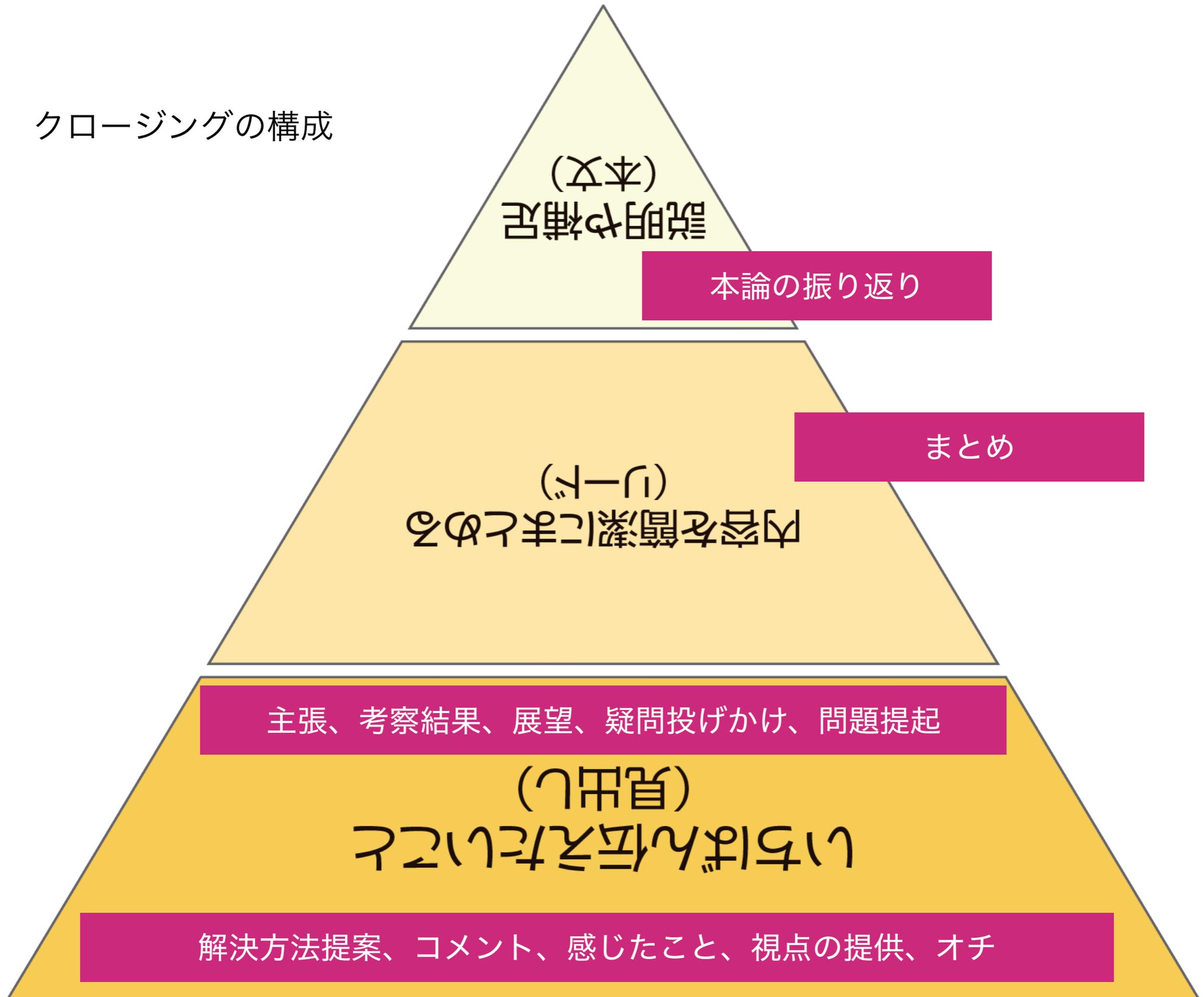
説明や補足
(本文)

ボディ・本論

- 主題・主張。メインテーマが最初にきて、そのあとサブテーマがくる、という構成にするのが一般的
- サブテーマ = 補足、聞き手に本論を伝える理由、雑学知識、ジョーク、説明、背景解説、根拠
- 補足情報は3つくらいがいいとされてる
- イントロダクションで言いたかったことの詳細、根拠、補足説明などを加える

-

クロージングの構成



プレゼンテーション の評価基準

評価基準

- メインポイント（主旨）が明確か
- 可能な限り論理的か
- 聞き手を配慮するプレゼンに見えるか
- 面白さ、独創性はあるか？ Is it interesting?
- 効果的に情報を共有しようとしているか？

本ゼミの目的

アカデミックスキル習得ということになってます...

- 先生の代わりに先生のようなことをしてもらう
- おっさん先生の視点がバリバリ入っている話を聞かないで済むように、皆でメディア論に関することを自分達自身の感覚に合わせて共有する
- ついでに次のことを習得あるいは目的にする: グループワークスキル、メディア論に関係したテーマへの興味関心を持つ、自分から調べる素養を身につける、ゼミの単位をなるべくいい成績で習得する、金を得たり売り込みをする基礎を学ぶ

プレゼン課題に関して、説明・例
(どういう感じでプレゼンをまとめるか参考)

プレゼン準備:やらなければならないこと

- **動画の内容をもとにプレゼンテーションの骨格・アウトライン、結論をどうするかを決める**
- 結論は先生の方では決めない。自分達でどういう話の展開にして、結論をどうするのか、プレゼンの注意点を参考に考える
- **自分達の視点:考え、思ったことを含めて、プレゼンのテーマの重要性（またはその逆）などを考え、疑問の共有、問題提起、興味深い点の提示、解決策等提案**
- **以上をもとに全体のプレゼン構成**

継続してください

- 1.授業用サイトは今週更新情報を公開するので、確認する
- 2.個人課題の下準備
- 3.グループ作業用の準備への詳細な指示を文章にして出すので、指示があり次第準備開始、ゼミ内で作業が進められるようにしておく
- 4.英語の自学自習、語学の自学自習
- 5.色々なニュース、ドキュメンタリー、本、雑誌、漫画、ネットで情報を得る。興味がありそうなものは可能な範囲で深掘り